

令和4年度 第2回 三島市介護予防・生活支援体制整備推進協議会 議事録

1 開催日時

令和5年3月7日(火) 14:30~15:40

2 開催場所

三島市役所 本館3階 第1会議室

3 出席者

(1) 委員

亀田力(座長)、大村皖伸(座長代理)、渡邊幸代、下村奈生、秋津佐代子、鈴木淑子、秋山孝史、木暮俊文、伊藤里香、清水まゆみ、槇かおる(委員代理)、笠原知美、野口啓太郎(第2層コーディネーター)

欠席: 齊藤都子

(2) 事務局

<健康推進部>

池田部長

<健康推進部 地域包括ケア推進課>

石井課長、原係長、勝俣保健師、林主査、長谷川主査、細谷第1層生活支援コーディネーター

4 会議の公開・非公開

公開

5 傍聴人

0人

6 会議の内容

(1) 健康推進部長挨拶

(2) 座長挨拶

(3) 議題

ア 令和4年度地域支え合い会議の報告について

【事務局説明】

事務局より、地域支え合い会議について説明後、第2層生活支援コーディネーターから、今年度の地域支え合い会議の実施状況と来年度の取組予定について、資料1に基づき説明

【質疑・応答】

(委員)

南田町で居場所を開設して7年目となり、当初は子どもから高齢者を対象としていたが、最近は高齢者の参加が多くなってきている。居場所の活動を広げていくことにより、地域で孤立している高齢

者の社会参加や居場所づくりに繋がると考えている。高齢者には様々な課題があるが、誰も置き去りにすることなく、町内会で相談しながらよりよい地域にしていきたい。

(委員)

北上地区は坂が多いことから、買い物に困っている高齢者の方が多い。最近静鉄ストアが移動販売を開始しており、商品1点につき販売手数料20円かかるが、会費や登録料不要で自宅の前まで販売車が来るため、困っている方に紹介している。

また、認知症家族会に参加しているが、社会福祉協議会にて家族会を新たに実施するにあたり、既存の参加者が別の家族会へと参加先を変更した際は、横の繋がりを持つことによって、一丸となって家族をフォローしていく必要がある。

(座長)

マンションにおいて一人暮らしの高齢者世帯が増えている。シニアクラブ、マンション管理組合、町内会の3つの組織で連携しながら、そういった方に対して訪問・見守り活動を週1で実施する予定。

#### イ 一般介護予防事業の実施状況について

##### 【事務局説明】

事務局より、資料2に基づき実施状況と来年度の取組予定について説明

##### 【質疑・応答】

(座長)

みしまるっと体操は、身体だけでなく口腔体操と脳トレも入っているということで、ぜひ居場所の活動に取り入れてみたい。居場所へ講師を派遣してもらう際の手続きを教えてください。

(事務局)

ご連絡いただければ理学療法士の講師を手配する。居場所における講師料の負担はなし。

(委員)

コロナ禍で多くの教室が活動を自粛した際に、地域住民の要望により居場所で新たにボディメンテ部を立ち上げ、閉じこもりによる体力低下の防止に繋がった。今後も活動を続けていきたいので、支援をお願いしたい。

(委員)

居場所への講師の派遣は土日も可能か。また、1コース2回実施とあるがどのような日程なのか。

(事務局)

土日の実施については要相談。理学療法士の先生を講師に想定しているため、調整が必要となる。1コースで2回体力測定を実施する。期間を開けて2回測定を実施することにより、期間中に実施した体操の効果がどれくらい出たか、分析を行う。ただし、測定回数等についてはご相談いただければ適宜対応していく。

(委員)

居場所での認知症予防講座開催を希望しているが、内容について説明をお願いしたい。

(事務局 生活支援コーディネーター)

現在居場所の活動支援ということで、市で実施している各種出前講座について周知を行うため、各居場所への訪問活動を実施している。その中に、居場所・サロン向け認知症講座があり、一般の方に

対して、認知症のこと、認知症本人や家族の気持ちを理解してもらうための講座となっている。

(委員)

当市の認知症施策の一環として実施している出張オレンジほっとサロンでは、認知症に対する理解だけでなく、認知症予防の方法についてもお話ししている。地域包括支援系の認知症地域支援推進員が講師となっているので、ぜひ活用して欲しい。

(座長)

体操の講師の方に対して、講習等を行う予定はあるか。

(事務局)

体操サポーター養成講座を例年実施しており、今までは従前のやってみ体操という介護予防体操を実施できるよう要請していたが、来年度以降はみしまると体操が実施できるように体操サポーターを要請していく。

#### ウ その他

##### 【事務局説明】

今までの議題に関してや委員の皆様から議題にあげたいことがあるかについて問いかけた。

##### 【質疑・応答、その他意見】

(委員)

コロナ禍の2年間で、高齢者の運動能力や気力がかなり落ちている。5月に新型コロナが5類に移行するが、2年前と同じように活動を再開できるのか、さらに気力が低下していかないか不安。

(委員)

高齢者の方に役立つ資料がいくつもあるが、配布方法について教えてもらいたい。例えば自治会に配布用のラックや棚を作って、近隣の方に配布することができればよい。

(事務局)

講座や市窓口にて配布しているが、行き届かない人たちにどのように届けるのかは大切な課題だと認識している。地域包括支援センターや自治会の協力を得ながら配布する等、多くの方に届けられるよう検討していく。

(委員)

シルバー人材センターでは月に3・4回健康体操教室を開催している。また、三島市から訪問型サービスBの委託業務を受託しており、家事援助や外出支援を行っている。

(委員)

届かない人にどう届けていくかが大きな課題だと考えており、自治会を巻き込んでいかなければ解決は難しい。自治会を含む地域全体で課題解決に取り組めるとよい。

#### (4) 事務連絡